

生涯教育

第1節 概要

1 生涯教育の推進

(1) 生涯教育推進組織の整備充実

- ① 生涯教育推進の中心組織である生涯教育推進会議の機能の充実を図るとともに、その報告書を基に、市町村における生涯教育推進組織の整備充実の促進に努めた。
- ② 生涯教育推進指定モデル市町村が、推進組織未整備市町村の先導的な役割を果たすようその波及に努めた。

(2) 生涯教育の普及・啓発の推進

- ① 生涯教育データベース・情報提供事業の充実を図るため、生涯教育関連事業を実施する関係課、機関・団体等との連携を密にしながら、良質な情報の収集と提供に努めた。特に、生涯教育関連事業、広報紙「生涯学習ふくしま」、テレビ・ラジオスポット放送、生涯学習ガイドブック等の情報提供と学習相談体制の充実をとおして、県民の学習活動への普及・啓発に努めた。
- ② 県民一人一人の広域的な学習機会の充実を図るため、家庭教育講座、大学開放講座及び高等学校開放講座、専門施設開放講座の内容の充実と県民の学習意欲の喚起に努めた。

第2節 生涯教育推進会議

生涯教育推進の中心的組織である生涯教育推進会議で、本県の生涯教育の推進方策について調査・審議を行った。

1 全体会

会議 年2回実施（7月22日、1月20日）

委員 24名（市町村長・教育長代表、学識経験者、関係団体代表）

委員名

氏名	役職名	所属部会
遠藤 宮子	福島市婦人教育指導員	振興
大原 徳明	福島県立会津短期大学学長	振興
小島 哲	国立那須甲子少年自然の家所長	振興
檜村 五郎	福島県高等学校長協会会長 県立磐城高等学校長	総合調整
国井 常夫	福島県町村会副会長・大信村長	振興
小林 四郎	福島県中学校校長会会長 福島市立福島第一中学校長	振興
斎藤 範幸	福島民報社常務取締役編集局長	振興
佐川 賢	前福島県社会教育委員	総合調整
佐藤 金正	前福島県青少年団体連絡協議会会長	振興
佐藤 春男	福島県公民館連絡協議会副会長 船引町中央公民館長	総合調整
鈴木 完一	福島県社会教育委員の会議議長	振興
鈴木 寛嗣	NHK福島放送局副局長	総合調整

氏名	役職名	所属部会
関口 富左	郡山女子大学学長	総合調整
樽井 博幸	福島民友新聞社編集局総務	総合調整
坪井 孚夫	福島県商工会議所連合会会長	総合調整
畑 孝一	福島大学教育学部教授	総合調整
松川 昭三	福島県小学校長会理事 白河市立白河第一小学校長	振興
松田 徳	福島県農業会議副会長	振興
宮島宏志郎	福島大学経済学部教授	振興
箭内洪一郎	福島県都市教育長協議会会長 福島市教育委員会教育長	総合調整
山本 ナカ	福島県婦人団体連合会会長	振興
吉森 和子	F T V 学苑事務局長	総合調整
渡辺 市松	福島県体育指導委員連絡協議会会長 県議会議員	総合調整
渡辺 良雄	福島県芸術文化団体連合会会長	総合調整

2 総合調整部会

(1) 部会 年4回（7月22日、10月21日、1月20・21日）

(2) 検討テーマ

「民間が実施する教育・文化事業との連携・協力のあり方について」

3 振興部会

(1) 部会 年4回（7月22日、10月21日、1月20・21日）

(2) 検討テーマ

「高齢期における学習機会の拡充方策について」

4 提言

昭和63年3月 県生涯教育推進本部長（副知事友田昇）に対し、県生涯教育推進会議議長（郡山女子大学学長関口富佐）が提言を提出した。その提言の要旨は次のとおりである。

提言1

県民の生涯学習を促進する推進組織の機能の充実を図ること

県民の生涯学習をより充実させるためには、県の生涯教育推進組織の機能を充実させる必要がある。

すなわち、県民が生涯にわたって「いつでも、どこでも、だれもが」学べるような学習の指導者、学習の場、学習の機会、学習の情報提供等の条件を一層整備し、運営体制の充実を図らなければならないからである。

そのため、今後、臨時教育審議会の答申「生涯学習体系への移行」に向けての改革に伴う文部省の組織改革や生涯学習振興法（仮称）の制定等、国の動向を踏まえ、柔軟に対応できる推進組織のあり方の検討を進めつつ、推進組織の機能を一層充実させる必要がある。